

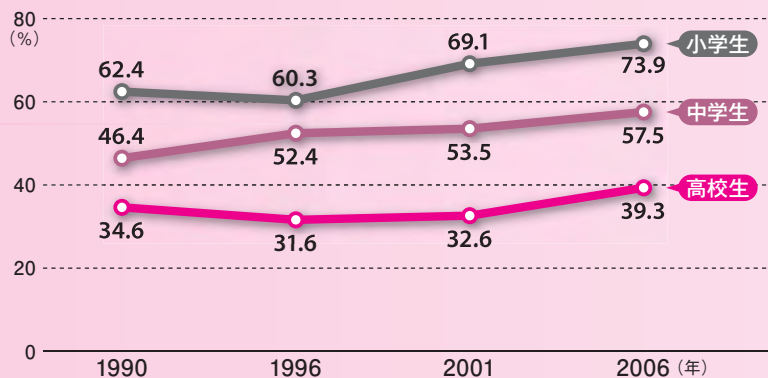
主体性の育成 ①

分かる授業の
追求で
学びの
主体性を引き出す

社会の「デジタル化」の進展に伴い、学校現場においても、デジタル機器の導入・整備が進んでいる。デジタル機器をうまく活用すれば、授業の理解度を向上させ、生徒の学びの「主体性」を引き出すことが出来る。今号では、「主体性」を育む手段としてのデジタル機器の活用のポイントと可能性を考えていく。

授業の理解度 (小学生・中学生・高校生)

Q. 学校の授業をどのくらい理解していますか(わかっていますか) 算数・数学



*「ほとんどわかっている」+「70%くらいわかっている」の%
*小学生は算数、中学生・高校生は数学である
出典／ Benesse 教育研究開発センター「第4回学習基本調査・国内調査 速報版」

学校段階が上がるにつれて、授業の理解度は下がっている。
高校ではまず、**授業の理解度を高めることが重要になる。**

8月号で見てきた、社会の環境変化に立ち向かうために必要なこと
「主体性」の育成

本号のテーマ

「主体性」を育む手段として、生徒の学びと教師の指導に
 デジタル機器をどのように取り入れればよいのか

デジタル機器活用による可能性

1. 指導の質の向上

「デジタル機器を活用し指導を効率化・充実化できれば、
 行事や部活動を減らさずに学力向上が図れるのではないか」



岩手県立軽米高校 川村俊彦先生 ▶対談 P.8

- ◎動画やプレゼンテーションソフトのアニメーション機能などを使うと学習内容がイメージしやすくなり、生徒の理解を促進できる
- ◎電子黒板や書画カメラなどの活用によって指導の一部を効率化でき、浮いた時間を、生徒が考える時間や学び合い、教師が生徒にかかわる時間に充てられる

広島県立廿日市高校 ▶学校事例 P.12

2. 学びの質の向上

「自分に必要な情報を探し、自分で解決するという
 学習の枠組みを作ることに、デジタル機器は有用」



東北学院大大学院 稲垣忠准教授 ▶対談 P.8

- ◎考えを共有しやすくなったことで、子どもの「表現したい」という意欲が高まる
- ◎インターネットによる調べ学習で、知的好奇心が刺激され、視野が広がる
- ◎保存・再生に優れたデジタル機器の活用で繰り返し学習がしやすくなり、学習内容の定着を図りやすくなる

山形県寒河江市立高松小学校、佐賀県立致遠館中学・高校 ▶小・中学校の取り組み P.18

生徒自らが学びに向かおうとする

社会環境変化の中での「主体性」の育成を、4号連続で取り上げます

8月号
 環境変化に立ち向かう
 「主体性」を育む

10月号
 本号

12月号
 グローバル化と
 「主体性」の育成①

2月号
 グローバル化と
 「主体性」の育成②